

(資料提供)

平成30年12月13日

県民文化スポーツ部文化振興課

直通：225-1371

内線：3855、3856

石川県立美術館

直通：231-7580

講演会

## 「近現代の染織」

石川県金沢市に、日本海側初となる国立美術館が誕生します。

東京国立近代美術館工芸館は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催時期を目標に、開館する予定です。

この開館に向けての気運を醸成するため、昨年度から、石川県立美術館におきまして、東京国立近代美術館工芸館名品展を開催しております。今年度は、工芸作品の中でも、特に色彩や造形の美しさを堪能できる「ガラス」・「染織」・「人形」・「金工」をテーマとして、「いろどりとすがた」と銘打ち、現在開催中です。

今回は、本名品展を県民の皆様により楽しんでいただくために、日本女子大学名誉教授であり、東京国立博物館客員研究員である小笠原小枝（さえ）氏をお招きし、本県の誇る能楽を支える能装束にも触れながら、近現代の染織の歴史についてご講演いただきます。

また、講演会に先立ち、本県出身の演奏家である坂口昌優（まゆ）氏と上田智子氏の演奏に、本県の伝統芸能を代表する加賀宝生を今に伝える能楽師・渡邊荀之助氏が舞うミュージアムコンサート「和洋の織りなす夢幻」も開催いたします。

日 時 平成30年12月15日（土） 10時30分～ [開場10時]

会 場 石川県立美術館 ホール

講 師 小笠原小枝氏（日本女子大学名誉教授・東京国立博物館客員研究員）

司 会 平見夕紀氏（フリーアナウンサー）

### プログラム（予定）

10:00 開場・受付開始

10:30 ミュージアムコンサート開演

1. 「メヌエット」 ヴァイオリン（坂口昌優氏）、ハープ（上田智子氏）

2. 「タイスの瞑想曲」 ヴァイオリン、ハープ

3. 「チャルダッシュ」 ヴァイオリン、ハープ

4. 「夢」 能舞（渡邊荀之助氏）、ヴァイオリン、ハープ

11:00 講演会「近現代の染織」（小笠原小枝氏）

12:00 終了予定



講演会&ミュージアムコンサート

TOKYO 2020  
文化  
オリンピックアード



# 近現代の 染織 in 石川県立美術館

参加費  
無料

事前申込不要

平成30年

12月15日 土

10:30~12:00 (開場10:00)

ところ 石川県立美術館ホール

## 講演会

### 「近現代の染織」

長年、日本・東洋の染織研究に携わってきた小笠原小枝氏が、石川県の誇る能楽を支える能装束にも触れながら、近現代の染織の歴史について講演します。

講師



小笠原 小枝 氏  
(日本女子大学名誉教授)  
(東京国立博物館客員研究員)

司会



平見 夕紀  
(フリーアナウンサー)



渡邊 苟之助 氏  
(能楽師)



坂口 昌優 氏  
(ヴァイオリニスト)



上田 智子 氏  
(ハーピスト)

## ミュージアムコンサート 「和洋の織りなす夢幻」

坂口昌優氏と上田智子氏の奏でる「夢」の世界に、石川県の伝統芸能を代表する加賀宝生を今に伝える能楽師・渡邊苟之助氏が舞います。きらびやかな能装束にもご注目ください。

県立美術館にて開催 11月24日(土)~12月24日(月・休)

東京国立近代美術館工芸館名品展「いろいろとすがた ガラス・染織・人形・金工から」

東京国立近代美術館工芸館が所蔵する「ガラス」、「染織」、「人形」、「金工」分野から、約50点をご紹介します。作品のいろいろとすがたを通して、作家の素材や技法への探求から生まれる多彩な表現をお楽しみ下さい。



喜多川平朗(能衣装唐織黒紅段)1962年 東京国立近代美術館蔵



佐々木象堂(蠟型銅置物 瑞鳥)1958年 東京国立近代美術館蔵



# 近現代の染織 in 石川県立美術館

平成30年

とき

12月15日土

ところ

石川県立美術館ホール

10:30~12:00(10:00開場)

## 出演者プロフィール

10:00開場 10:30~

### ミュージアムコンサート「和洋の織りなす夢幻」



わたなべ けんじの すけ  
**渡邊 荀之助 氏**  
(能楽師)

1949年金沢市生まれ。4歳で初舞台を踏み、東京において宝生流宗家の内弟子として研鑽したのち、「石橋」「道明寺」「乱」「翁」等数々の大曲を披かれ、国内外の舞台においてシテを務めるなど能楽一筋に真摯に修練を重ねる。西洋音楽に対する造詣も深く、数多くのコラボレーション作品に出演され、昨年の「いしか

わ・金沢 風と緑の楽都音楽祭」で上演された「能舞とモーツァルト」においては、洗練された能舞と流麗なクラシックとの融合による幽玄の世界を繰り広げ、多くの観客を魅了した。また、加賀能楽座を主宰し、多くの門弟の育成に尽力するなど、能楽の継承にも力を注いでいる。



さかぐち まひろ  
**坂口 昌優 氏**  
(ヴァイオリニスト)

野々市市出身。4歳より母の手ほどきでヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を首席で卒業し、同大学を経て同大学研究科を修了。2004年にいしかわミュージックアカデミーIMA音楽賞を受賞し、海外でも活躍。これまでに故久保田良作、田淵洋子、原田幸一郎、堀米ゆず子の各氏に師事。

うえだ ともこ  
**上田 智子 氏**  
(ハーピスト)

金沢市出身。第6回ヨーロッパ国際音楽コンクールハーブ上級部門において第1位を審査員全員一致により受賞。OEK定期サントリーホール公演にて、岩城宏之指揮のもと、コンチェルト演奏をするなどOEKとの共演は多数。現在、全国で演奏活動を繰り広げているほか、作曲も意欲的に行っている。CDも多数リリースされている。



11:00~

### 講演会「近現代の染織」



【講師】  
おがさわら さえ  
**小笠原 小枝 氏**  
(日本女子大学名誉教授)  
(東京国立博物館客員研究員)

1942年愛媛県生まれ。東京芸術大学美術学部芸術学科卒業。東京国立博物館調査員、東京芸術大学非常勤講師などを経て日本女子大学助教授、教授を歴任。現在、日本女子大学名誉教授、東京国立博物館客員研究員。専門は日本・東洋染織の比較研究。主な著書に「日本の美術」「更紗」(1980年)「金襴」(1984年)『染織

(中世編)』(1988年)「緋」(1992年。以上至文堂)、「船載の染織」(中央公論社、1983年)、「染と織の鑑賞基礎知識」(至文堂、1998年)、「ジャワ更紗—いまに生きる伝統」(共著、小学館、1999年)、「別冊太陽 更紗」(監修、平凡社、2005年)、「中国絹織物全史—七千年の美と技」(監修、2015年、[発行]科学出版社東京[発売]国書刊行会)、「名物製の研究 鴻池家伝来の仕覆解袋」(編著、国書刊行会、2018年)などがある。

#### 【司会】

ひらみ ゆふき  
**平見 夕紀 氏** (フリーアナウンサー)



石川県七尾市出身。石川県立七尾高等学校、法政大学卒業後、1995年テレビ金沢入社。夕方ワイド情報番組「じゃんけんぼん」などの司会を務め、2006年3月退社。以降、フリーランスで、自治体の式典、各種イベント、シンポジウムなどの司会、学校や民間企業での講演、番組出演などで活動中。

#### 【主な出演番組】

在局中:「歴Nワイド」「じゃんけんぼん」、「ふるさと再発見」、日本テレビ特番ニュース大賞にて「ベストアナウンサー賞」受賞  
退社後:「じゃんけんサタデー」、「花のテレ金ちゃん」、各種特番等出演  
現在:「いしかわ大百科」石川県教育委員会、「カラダ大辞典」に出演中

■お問い合わせ

「東京国立近代美術館工芸館名品展」等実行委員会(石川県文化振興 課内) 平日9:00~17:00 TEL:076-225-1371